

外国人技能実習生の受け入れ費用の目安（概算額）を紹介します

受入にかかる費用

技能実習生受入れにかかる毎月の費用は、主に本人に支払う給料と監理団体（組合）への監理費のほか、組合員としての賦課金（組合員会費）などで構成されますが、受け入れ初期には下記のような費用が発生します。



まず、事業協同組合の組合員になる必要があります。

入会金 10,000 円(1口)～

会費(賦課金) 5,000 円～10,000/月

1 受け入れ初期費用 約 300,000 円

- ・入国前講習に要する費用 110,000 円(為替レートにより変動します)※介護は 330,000 円
- ・往路渡航費 120,000 円(時期や送り出し国により異なります)
- ・在留にかかる申請その他諸手続き、保険等費用 60,000 円
- ・送付機関や受け入れ企業との連絡、協議費用 10,000 円

2. 入国後1ヶ月目(入国後研修中) 約 210,000 円

- ・入国後集合講習に要する費用 100,000 円程度(金額は介護職 165,000 円程度。職種により異なります)
- ・実習生への講習手当 60,000 円(講習期間中の手当)
- ・監理費 30,000～50,000 円
- ・送り出し監理費(送り出し機関により異なります 5,000～10,000 円)

3. 2ヶ月目以降(職場配属になります。雇用契約及び監理委託契約に基づきます) 約 240,000 円

- ・実習生への給料 172,080 円

※1. 時給 956 円(埼玉県の最低賃金)×180 時間(所定労働時間)での計算例。

2 給与からは、住居費、光熱費、通信費等を協定書等の控除内容に基づき控除します。

- ・社会保険料・年金等の雇用主負担分約 22,000 円(給料の額により変わります)

- ・監理費 40,000 円前後
- ・送り出し監理費 (5000~10,000 円)

4. その他

JITCO (国際人材協力機構) 賛助会費 (任意)

- ・資本金規模により、1 口 50,000 円/年から ※資本金額により異なります。

在留資格等更新費用

- ・在留資格、査証等更新費用 10,000 円 / 回 (実費)

技能検定費用

- ・技能検定費※2 30,000 円～ ※職種により異なります

※2.技能実習の成果として、資格試験の受験が義務付けられています。

実習 1 年目で、技能検定試験を受験し、合格した者のみ、翌年移行の 2 号実習へと移行することができます。

帰国 (復路) 旅費

実習生が、帰国する際の渡航旅費を負担いただきます。100,000 円前後 (時期や国により異なります)

監理費内訳

月額監理費の内訳

- 受入れ企業に対する支援・指導、監査等に要する費用
- 出入国在留管理局に対する監査報告に要する費用
- 実習生に対する相談・支援・生活指導に要する費用
- 受入れに際し発生する人件費及び交通費等の諸経費

送出し機関監理費

送り出し機関による実習生へのサポート

実習開始後の実習生一人当たり毎月かかる経費の費用イメージ



(注) 掲載の金額は、概算額です。送り出し機関や監理団体、職種により異なります。